

項	教育目標	重点目標 (努力目標)	具体的な取組	取組状況・成果・課題	自己評価 (4点満点)	学校関係者からいただいた 評価・意見等	改善策 ※左欄(学校関係者からいただいた評価・意見等)を踏まえた改善策には、下線	
心豊かに 神戸の子供を育む	す・が・た すすんで する子・ がんばり ぬく子・ たすけあ う子	すすんで する子	あいさつ運動	プログラム委員会を中心としたあいさつ運動により、低学年の児童なども自主的に参加するようになってきた。	3.7	元気よく学校に通っている姿をよく見る。	これからも、 <u>地域の方にも積極的に挨拶ができるように</u> 、全校生であいさつ運動に取り組んでいく。	
			委員会・係・当番活動	蜜を避けつつ、常時活動や低学年の学級への働きかけを徐々に増やしていったが、例年に比べ活動内容は少なくなってしまった。	2.2	(今年度は評議員の授業参観を実施しなかった)直接見聞きしないと、学校の様子はよく分からない。	委員会活動は、高学年を褒める絶好の機会である。できるだけ、常時活動の中で、認め励ませよう、全職員で意識を高める。	
			リズムなわタイム・姿勢体操 (体力アップの取組)	全校で8:20から姿勢体操を実施し、落ち着いて午前の学習に取り組めるようになった。リズム縄跳び運動に関しては、コロナ対策のため実施できなかった。	3.3	運動場が広がったので、工夫する良い機会である。安全指導もきちんとしてもらいたい。地域のスポーツ活動では、皆元気に頑張っている。	広がった運動場を活用して、 <u>リズムなわタイムの時間を設定し、全校で体力アップに取り組む。</u>	
		がんばり ぬく子	力のつく授業推進	授業を撮影し、動画を閲覧しての授業研修を実施したが、回数も限られ、効果は限定的であった。	3			授業参観を前提とした授業研究により、個々の指導力を向上させる。短時間の「プチ研修」を積極的に行い、職員間の関わりを意図的に増やす。
			もくもく掃除	コロナ対策のため、兄弟学年でのもくもく掃除は実施できなかったが、6年生が中心になって取り組み、下級生にも少しずつ浸透してきた。	3.5			もくもく掃除の具体的な指標を設定し、各学年の発達段階に応じて、計画的に指導する。
			自尊心を高める取組	算数科を中心に、スモールステップで授業をすすめ、支援教員と共に、細やかに個別評価をした。(ミニテストや放課後教室の実施)	3.3			来年度も支援教員と共に、細やかな指導を続け、支援と評価を自尊心の向上につなげる。
		たすけあ う子	異学年交流の充実	コロナ対策のため、ほとんど実施できなかった。				コロナ対策を考慮しつつ、できるだけ積極的に実施する。
			道徳・人権教育の充実	各学年で授業研究を行い、板書計画やワークシート作りなどを通して、計画的に授業を行った。学年によっては、ローテーション授業を行った。	3.2			ワークシートや教科書を持ち帰り、保護者に確認してもらう機会を増やす。
			児童理解と情報の共有化	毎週水曜日の職員連絡会に加え、KICKSの掲示板や回覧板を活用し、要配慮児童について共通理解を図った。学年や専科の枠を超えて、サポートを行うことができた。	3.3			来年度も引き続き、全職員で児童理解・サポートに努める。
安全・ 地域・安 心で共 に楽し い学校 を支え る	あ れ ば 研 修 目 標 が	お互いを認め合い・高め合える学級集団作り	年度後半は、グループでの話し合い活動の機会を多くもった。また、学習の中で振り返りの時間をとり、自分や友達の成長したところをノートに記録したり発表したりした。	2.4		年度当初に、ベテランや中堅による「プチ研修」を多くとり、話し合い活動やノート指導の進め方の共通理解を図る。		
		～学級経営力・授業力の向上～	全学級の授業公開は、今年度は実施できなかった。			全体研修授業はもちろん、その他にも自主的に授業公開を行う。		
		ICT(プログラミング)教育の推進	1人1台端末の支給により、活用の幅が広くなり、教員も積極的に研修を進めることができた。	3.6		タブレット端末を活用した授業を公開する機会を増やす。		
		いじめ防止基本方針に基づくいじめ防止対策に関する取組(いじめ問題対策委員会)	年3回の生活(いじめ)アンケートを実施し、児童の実態をつかみ、全職員で共通理解の上、指導・対応に当たった。	3.7		来年度も引き続き、全職員で共通理解の上、指導・対応に当たる。		
		登下校時の見守り運動	昨年度に引き続き、登校時はもちろん、下校時にも、危険個所に立ち番を設置し、交代で指導した。昨年度3件だった事故が、今年度は0件だった。	3.5	子供たちの通学態度がよくなった。おとなしく静かに通学できている。	PTAや地域の方とも連携し、引き続き、 <u>手厚く登下校指導に取り組む。</u>		
		ホームページの更新頻度の向上 (新型コロナウイルス感染症関連)	更新頻度が1日3回から、7回程度に増え、保護者や地域の方からも大好評であった。	4	子供たちの姿をHPで拝見するのが楽しみである。今後も継続してほしい。	HPを活用し、 <u>コロナ対応をはじめ、様々な情報発信をしていく。また、校長のみならず、学年でも学習活動の様子をHPにアップする。</u>		
		業務改善に向けた取組	業務終了時間を、遅くとも19時とし、超過勤務時間を減らした結果、ほぼ全員の超過勤務時間が減少した。	3.8	先生方もご苦労されていると思う。行事等、英断いただいても、保護者は理解すると思う。	実際には、家に持ち帰っての仕事がまだまだ多いため、業務そのものを効率化できるよう、業務改善委員会を中心に、検討を重ねる。		